

平成29年度宮崎県特別支援教育研究連合知的障がい教育研究部会

－ 第2回理事会 －

－ 第4回研究大会実行委員会 －

－ 第2回九特連宮崎大会実行委員会 －

議事録

日時：平成29年11月10日（金）

午後2時～4時

会場：県立みなみのかぜ支援学校

I 開会行事

(1) 会長あいさつ

10月26, 27日に全特連大会が山口であった。宮崎県から5名参加した。発表は本校の甲斐教諭が発表した。特別支援教育はこれから高校の通級も始まる。大分大会には32名支援学校教員が参加することになり、依頼の人数には足りた。本日の内容も研究大会の反省、宮崎大会についての補正予算、次年度大会についての話があるが、色々ご意見をいただきたい。これらの大会を携わる先生の結束が高まる大会にしていきたい。

(2) 配布資料確認

- ・29年度研究部会第2回理事会
- ・30年度宮崎大会1次案内冊子
- ・29年度第10回県特研連知的部会研究大会冊子
- ・31年度知的部会の方向性について

II 第2回理事会

平成29年度知的部会予算の補正について

- 大分県事務局から宮崎県事務局への九特連事務局引き継ぎ会の会議室使用料
→本年度知的部会予算（予備費より）より支出

林T 来年度宮崎大会引き継ぎ2月の後半行われる。5000円ほど。知的部会から出したい。
了承！

III 第4回研究大会実行委員会

(1) 平成29年度知的部会研究大会反省→29年度第10回県特研連知的部会研究大会冊子参照

- ・良い意見もたくさんあるが、課題点、改善点を見ていきたい。
- ・生活単元学習は合わせた指導で次回大会はお願いしたい。

・研究大会の案内文書が届いていないといった意見があった。支援学校はメール。小中は校長会で配布。市町村教育委員会へ。これからは教育委員会に確認することをしていきたい。

橋本会長 案内文書配布は2つの教育委員会がポストを使ってはいけないということがあったので、なかなか難しい面があったが、経費がないので各学校で協力してもらいたい。教育委員会のポストについては協力をお願いしていきたい。

・運営スタッフは申込みはいらぬが、今年度重複した件があったのでしっかり確認していきたい。

水野T 弁当係で、受付を行った。特別支援学校の校長の申込みをもらっておらず、当日混乱した。校長先生の参加の有無が直前で把握漏れがあったので、今後は校長会会長がとりまとめをして、申込みをまとめてもらったほうがよいと考える。

橋本会長 今後は県立学校の校長は橋本会長が一括メールで行う。小中学校校長は各地区にお願いする形をとりたい。→了承。

運営について

・会場についてもっと人数の入る会場の方が良いのかなと思った。

・支援学校と小中学校の校種ごとにニーズが違うので難しいなと思うところがあった。

橋本会長 研修の場を求める気持ちがあり、武道館も特例でおさえることができた。次年度の保証はない。障がい種、小中のニーズに合わせて、分科会形式なども視野に入れながら、今後ニーズに応えられるような研究会を、県特連を含めよりよい会の在り方を探っていきたいと考える。ブロック部会に参加しやすいのかなどの意見を聞きたい。遠慮のないご意見を伺いたい。

湯浅T みやざき中央支援学校（以下中央）を使ってもらうことは大丈夫なのだが、駐車場を日大に借りている。天候が良い時は良いのだが、悪いとグラウンド状態が悪くなる。轍、脱輪等。中央職員がグラウンドに停めても、駐車場が足りない。研修会でいい話があっても人数に制限をかけないといけないということがあるのがもったいないと思う。研修施設の方が準備片付け等はしやすいと思う。

隈田原T 10年目でもあり、障がい種部会、ブロック大会を考える良い時期なのかなと思う。

障がい種部会は難しいとしても、ブロック部会大会を考えていければ良いのかなと思う。

岡田先生の話と発表の内容が噛み合っていなかったような印象があった。午前午後の内容はテーマに沿った内容を合わせていく必要があると考える。

水野T 県北の参加状況は支援学校は制限をかけたくらいだったが、小中は参加は中央の方がしやすい。旅費の関係で小中の参加が難しいという声も聞いた。各地区での研究大会を考えていってほしいと思う。

橋本会長 県央の開催が難しい現状。宮崎市の施設は宮崎市主催でないと経費がかかる。この会は小中が母体ということもあるので、今後研究大会の在り方を投げかけさせていただきたい。来たい先生が来られない現状も考えると、色々ところで先生方の意見を取り入れたうえで、部会の在り方を提案させていただきたい。

(2) 平成31年度知的部会研究大会について→31年度知的部会の方向性について資料参照

・現在の方向性として出させていただいている。

・会場について、特例で武道館を使ったが、次年度は難しいのかなと考えている。

看護大学は8月1日から借りられる。宮崎公立大学、宮崎産業経営大学は8月2週目しか借

りられない。

- ・31年度大会を8月上旬にしてもいいか。他の大会との絡みもあるが。九情研が31年度あるのではないか。小中特研でも検討していただいて、九情研、旅費の関係を考えて、2月に方向性の話ができればいいのではないか。
- ・8月上旬は人権大会、8月9日長崎原爆、沖縄の何かの日には研修会などを入れてはいけないという決まり事がある。
- ・8月上旬に開催しても良いか？ 県特連の方で調整してもらうのが一番良いのではないか。全部の予定が上がってくるので、それが一番良いのでは。橋本会長 県大会を1つにして、県全体での研究大会を提案していきたいのだが、了承いただけるか。→了承
- ・会場、期日についてはまた検討する。日程は午前は新学習指導要領について、午後は実践発表、小中の実践については小中理事に発表者のリストアップをしていただきたい。2月の理事会までにリストアップをお願いしたい。転出等もあるので変更もよいのか。1年前までにはお願いしたいので、転出等あってもお願いしたい。
- ・今年度発表者の水谷先生は飢肥中から付属中へ転勤されたが、そのまま発表していただいた。
- ・小野T 小中特連の全体会（理事会）が2月にあるので、その会で小中学校の発表者については話し合う。各地区はその前にあるので、各地区にお願いして挙げてもらうように話をする。

IV 第2回九特連宮崎大会実行委員会

第1次案内（県内の小中学校、県立学校にはすでに配布済み）→30年度宮崎大会1次案内冊子参照

(1) 変更点：会場

P1→ニューウェルシティ宮崎に加えて、宮崎市中央公民館を分科会会場に追加

大会第2日目

P2→分科会の前に全体会「講座」を追加

場所は第1日目の全体会と同じ（ステージは組まない。）

内容については現在調整中。

(2) 宮崎大会予算案（平成29年度分）

P3→29年度収支予算書（案）について説明

承認を経て予算書の案を消す。

(3) 宮崎大会予算案（平成30年度分）

P4→30年度収支予算書（案）について説明

- ・県内からの200名については、スタッフを含めての人数なのか？水野T
- ・会費を払って参加する人数である。柴下T
- ・予定人数に達しない場合はスタッフと兼任して参加費を払ってもらうこともある。柴下T
- ・参加費としては、1日参加でも3000円支払う予定である。西山T
- ・動員はどれぐらいかかるのか？隈田原T
- ・小中学校の校長会で協力をお願いしているところである。各学校で教育課程を決める段階では、大会に参加できるような組み方をしてほしい。橋本会長
- ・学校現場は、特別支援学級の補教が難しく、2日間の出張にはなかなか出られない。そのため

1日のみの参加になる人が多くなるため参加費が3000円は高いのではないかと特に1日のみの参加者にとって3000円は高い。 中島T

- ・小中特研で積み立てをしている。3年前の全国大会時参加する方法もある。小野T
- ・小中特研より、知的部会にその積み立てを出してもらえると、小中学校の先生に関しては、参加しやすいように配慮ができる。前向きな検討をお願いしたい。橋本会長

(4) 分科会日程について

P5説明 森本T

- ・2日目の受付の時間は何時か？中島T
- ・9:00からとなっている。柴下T
- ・2日目の講座と午後の分科会との関連があると良い。飯干T
- ・講座の講師については、文科省にお願いしているところである。橋本会長
- ・分科会は提案が中心ということだが、小野T
- ・それぞれ、25分の発表を自由に使ってもらおう。西山T

(5) 研究紀要記述要項について（分科会提案者担当ページ）

P6説明 森本T

- ・発表原稿は、紀要に掲載するのか？ 中島T
- ・発表概要のみを2ページ掲載する予定である。発表資料については、各自で準備していただく。橋本会長
- ・資料代については、事務局から出るのか？水野T
- ・原稿を事務局にメールで送ってもらい、事務局で印刷を行う予定である。西山T
- ・文字規定については？隈田原T
- ・文字の規定については、それぞれの地域のルールで書いていただく。橋本会長
- ・様式のデータを準備している。西山T

(6) 分科会提案者について（本日の参加者より把握している部分のみ記載）

	分科会名	提 案 者
1	日常生活の指導	都城きりしま支援学校小林校： 片平慎二 教諭
2	生活単元学習	日南地区 :
3	教科別の指導 総合的な学習の時間	西都地区 :
4	作業学習・進路学習	宮崎地区 : 宮崎市立住吉中学校
5	自立活動	日向ひまわり支援学校 : 飯干知子 教諭
6	交流及び共同学習	児湯るびなす支援学校 : 齋藤敬幸（さいとうたかゆき）教諭
7	合理的配慮の実際	延岡地区 : 延岡市立緑ヶ丘小学校 村社佐江子（むらこそさえこ）教諭

(7) その他

参加者へ配布の記念品について

支援学校の先生に連絡（会終了後支援学校のみ残って話をする）

V 連絡

（1）各係より

なし

（2）その他

次回は平成30年2月9日（金）に予定しています。次年度へ引き継ぎをお願いする内容がありますので、欠席の場合は代理の方に出席いただけるようお願いいたします。

VI 閉会行事

（1）会長あいさつ

小中特研の先生たちと関わる機会が多くなってきている。今日はいろいろな審議していただいたお礼。来年度の大会は、参加者が参加して良かったと思えるような研究大会にしていきたい。

※会終了後、宮崎大会の配布記念品・大分大会参加者への協力依頼（大分大会に参加して、来年度の宮崎大会に向けての準備など気づいた点について記入してもらったプリント）の話をする。